

科目名		授業形態	担当教員名	
吃音 I (概論、小児)		講義	杉原 晃	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
15 時間 ( 1 単位)		8 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
吃音の基本的な知識や臨床に必要な技術について認識する。 吃音の種類、発生機序、評価、診断および治療法について小児の吃音を中心に学習する。				
授業の到達目標				
吃音を正しく理解し、吃音症状面のみならず、吃音を多面的視点を持って捉える。随伴症状や感情・態度面も含めて、全人的な視点で吃音の問題をとらえることのできるセラピストになることを目的とする。 面談や検査から情報収集を行い、個々に応じた訓練計画を立て、自ら積極的に働きかけることができるようになる。				
授業計画				
回	内容			
1	吃音についての概論 吃音とは何かを知る			
2	吃音についての概論 吃音の特徴を知る			
3	吃音についての理解 吃音の原因論を分類する①			
4	吃音についての理解 吃音の原因論を分類する②			
5	吃音についての評価 吃音の評価のしかたを識別する①			
6	吃音についての評価 吃音の評価のしかたを識別する②			
7	吃音のセラピー セラピーの計画を立て、セラピーの方法に触れる①			
8	吃音のセラピー セラピーの方法に触れる②			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	吃音の概論、原因論、評価のしかたを理解し、セラピーの立案ができる点を評価基準とする。		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
吃音・流暢性障害のある子どもの理解と支援	小林宏明・川合紀宗編著		学苑社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				
将来のために、患者様のために、自ら言葉にしてみるやってみる積極さで受講することを希望する。				